JVC

取扱説明書

ホームシアターサウンドシステム

型名 **NX-BX3-W**
NX-BX3-B

ガラス在中

ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。
●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www3.jvckenwood.com/reg/

お買い上げいただきありがとうございます

⚠ ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

オートパワーセーブ(節電機能)について
本機には、消音状態などが29分間続くと自動で電源が切れる「オートパワーセーブ機能」があり、お買い上げ時には有効になっています。詳しくは2ページの「基本操作」の「APS(オートパワーセーブ)を設定/解除する」をご覧ください。

GVT0348-001A
1211WMKMDWJMM

転倒・落下防止対策について
地震等での本機およびテレビの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行なってください。

本機を設置するときは
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない

スタンドの底部やメインユニットを床や机の上などで引きずらないでください。底面のスペーサーがはがれて取れることがあります。

本書の見かた
- 本書では、主に**リモコンのボタンを使って**操作説明をしています。本体に同様のボタンがある場合には、いずれのボタンもお使いいただけます。
- 本書内のイラストは、説明のため簡略化や誇張しているものがあります。
- 機能によっては、本書の説明とは異なる操作でも動く場合があります。
- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPhoneとiPod touchを含めます。iPhoneとiPod touchを指すときは、「iPhone」「iPod touch」と表記します。

準備する すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

付属品の確認

お使いになる前にお確かめください。不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- リモコン RM-SNXBX3(1個)
- ACアダプター AA-R1904(1個)
- 電源コード(1本)
- リチウム電池 CR2025(リモコン動作確認用・1個)
  – 出荷時にリモコンの中に入っています。
- コアフィルター(大1個、小2個)
- 光デジタル音声コード(1本)
- FM簡易型アンテナ(1本)
- スタンド一式(別紙の組み立て説明書を参照してください)
- 転倒防止バンド(1本)
- ねじ(転倒防止バンド用)(1本)

リモコンの準備

初めてリモコンを使用するときには、リモコンの絶縁シートを引き抜いてください。
操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい電池と交換してください。

電池を交換する
電池ぶたを引き出し、電池の＋面を上にして入れてください。

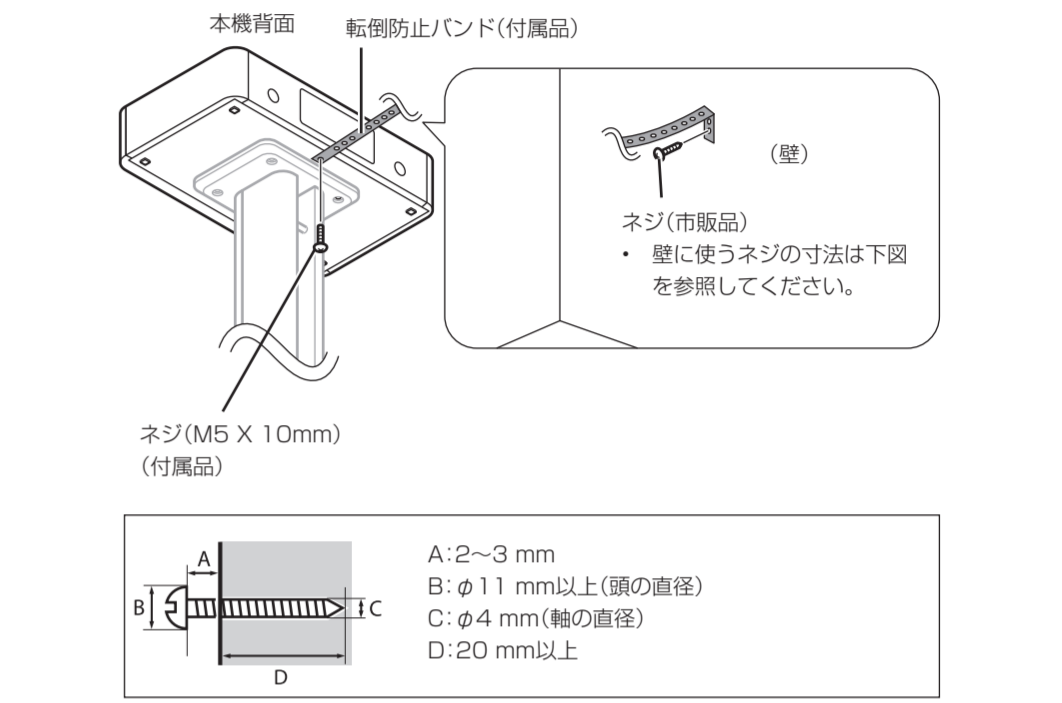
ご注意
- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 電池は、別紙の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

開梱と組み立て

開梱と組み立てについては、別紙の組み立て説明書を参照してください。

転倒防止の処置について

地震等での転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するため、本機およびテレビ等の転倒・落下防止の処置を行なってください。
転倒・落下防止器具を取り付ける壁の強度が不足していると、転倒・落下防止の効果が大きく減少します。その場合は、適切な補強を行なってください。
転倒・落下防止の処置は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対して効果を保証するものではありません。

本機の転倒防止について
転倒防止バンドを使って、本機と壁を固定してください。

テレビの転倒防止について
本機の上にテレビを置く場合は、テレビに付属の取扱説明書をご覧になり、テレビと壁を固定してください。テレビを本機に固定しないでください。
- テレビを壁に固定するときは、壁などの材質に適した市販のねじ、丈夫なひも、鎖などでしっかり固定してください。
- 壁には、テレビの重量を支えられる強度が必要です。固定する壁の強度については、施工業者などにご相談ください。

主な仕様

実用最大出力
60 W (30 W × 2)
(JEITA THD 10%/4 Ω)*[1]

入出力端子
- アナログ入力
  ANALOG IN：1 Vrms/50 kΩ
- デジタル入力*[2]
  DIGITAL IN 1(光)：
  −21 dBm ～ −15 dBm
  (660 nm ± 30 nm)
  DIGITAL IN 2(同軸)：
  0.5 V(p-p)/75 Ω
- サブウーハー出力
  SUBWOOFER PRE-OUT

スピーカー
- 種類：
  バスレフ方式
- スピーカーユニット：
  8.0 cmコーンスピーカー × 2
- 最大許容入力：
  30 W
- 定格インピーダンス：
  4 Ω
- 再生周波数帯域：
  50 Hz ～ 25 kHz
- 出力音圧レベル：
  84 dB/W•m

共通
- 電源入力(DC IN)：
  DC 19 V ⎓ 3.37 A
- 電源：付属のACアダプター(AA-R1904)
  入力：AC 100 − 240 V～、
  50/60 Hz、1.5 - 0.9 A
  出力：DC 19 V ⎓ 3.37 A
- 消費電力(電源待機時)：
  0.50 W以下
- 外形寸法：
  スタンド取り付け時：
  幅500 mm × 高さ400 mm ×
  奥行き300 mm
  メインユニットのみ(ガラス天板有り)：
  幅500 mm × 高さ110 mm ×
  奥行き300 mm
- 質量：
  スタンド取り付け時：11.8 kg
  メインユニットのみ(ガラス天板有り)：8.0 kg
- 耐荷重：
  20 kg

FMチューナー
- 受信周波数：
  76.0 MHz − 90.0 MHz

iPod
- 出力：
  DC 5 V ⎓ 1 A
- 接続方式：
  デジタル
- ビデオ出力(VIDEO OUT)：
  コンポジット

*[1] JEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。
*[2] リニアPCMにのみ対応しています。
(サンプリング周波数：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz)
– リニアPCM以外の音声信号が入力されると、「NONPCM」と表示されます。

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

故障かな？と思ったら

当社ホームページ(http://www3.jvckenwood.com/)から最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。
修理を依頼する前に、下記の項目をチェックしてみてください。

電源が入らない。
→ 電源プラグをしっかり差し込んでください。

突然電源が切れる。
→ オートパワーセーブ(節電機能)が設定されています。2ページの「基本操作」の「APS(オートパワーセーブ)を設定/解除する」をご覧ください。

リモコンで本機を操作できない。
→ 絶縁シートを引き抜いてください。
→ リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。
→ リモコンとリモコン受光部の間に障害物を置かないでください。
→ リモコンをリモコン受光部に向けて操作してください。
→ 本体に近づいて操作してください。
→ 新しい電池と交換してください。

音声が聞こえない。
→ 一時的に消音されています。リモコンの[消音]を押すか、[音量＋]を押して音量を調節してください。
→ 入力が「DIGITAL1」または「DIGITAL2」のときに音が聞こえない場合は、接続した機器の出力設定を確認し、PCM信号が出力されるように設定してください。

iPodがしっかりと接続できない。
→ iPodおよび本機のコネクター部分が損傷していないか確認し、iPodを接続し直してください。

iPodの音が出ない。
→ iPodを本機からはずし、もう一度接続してください。

iPodが充電されない。
→ iPodを本機からはずし、もう一度接続してください。そのあと、電源を入れ直してください。

上記の処置をしても正しく動作しないときは
本機はマイコンの働きで多くの動作を行なっております。万一、雷や静電気などによる動作の異常が発生したときや、ボタン操作を押してもうまく動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってから接続し直してください。

本機の設置

本機を設置するときは、以下の点に注意してください。
- 本製品を部屋に設置するときは、後面と壁の間に10cm以上のすきまをあけてください。
- 設置は不安定な場所を避け、壁際で安定した場所に設置してください。
- 付属のACアダプターをほかのものの上にかけたり設置したりしないでください。必ず平らな床に置いてください。

本機の上にテレビなどを置く場合は、以下の点に注意してください。
- テレビなどに付属の設置マニュアルや安全上の注意をあわせてお読みください。
- 20kgを超えるものを置かないでください。
- 本機の天板からはみ出すようにものを置かないでください。テレビの画面や台座などが本機の天板からはみ出すなど、かたよった設置のしかたをすると、倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。
- テレビなどを置く場合は、本機の天板の中央に置いてください。
- テレビなどを置く位置を調節するときは、置くものを持ち上げてください。引きずると天板を傷つけることがあります。

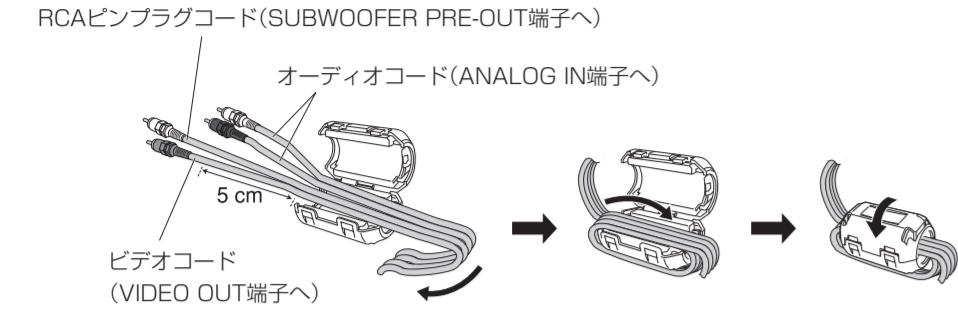
ご注意
- 本機によじ登ったり、腰掛けたりしないでください。
- 本機の上に水などの入った容器を置かないでください。
- 本機の上にものを置く場合は、別紙の「安全上のご注意」もよくお読みください。

お知らせ
- 本機は、スタンドを取り付けないでメインユニットのみの状態でもお使いいただけます。その際はメインユニットをお手持ちのオーディオラックの上などに置いてお使いください。

接続する　すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

コアフィルターの取り付け

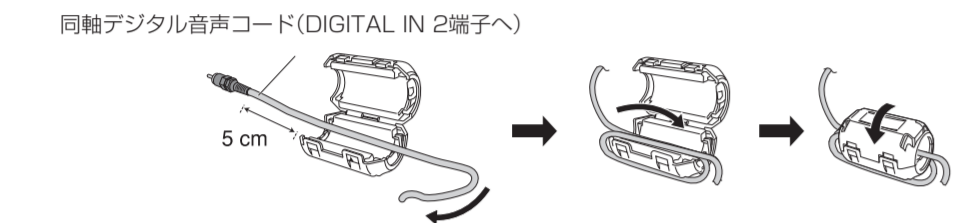
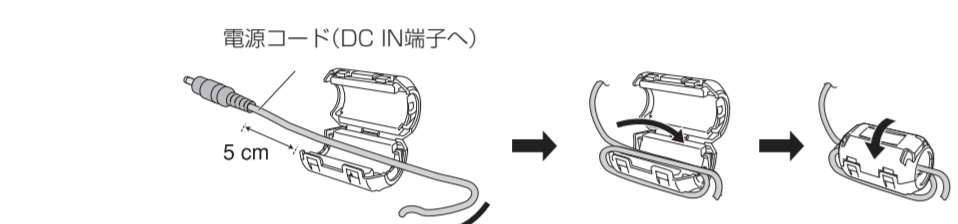
ノイズを軽減させるため、付属のコアフィルターを電源コードと外部機器のコードに必ず取り付けてください。
コアフィルターにコードを通し、さらにコードを一巻きさせてください。巻いたあと「カチッ」という音が鳴るまで閉めてください。（コードは図のようにまとめて巻きつけてください。）

コアフィルター(大)

コアフィルター(小)

コアフィルター(小)

電源コード(DC IN端子へ)

5 cm

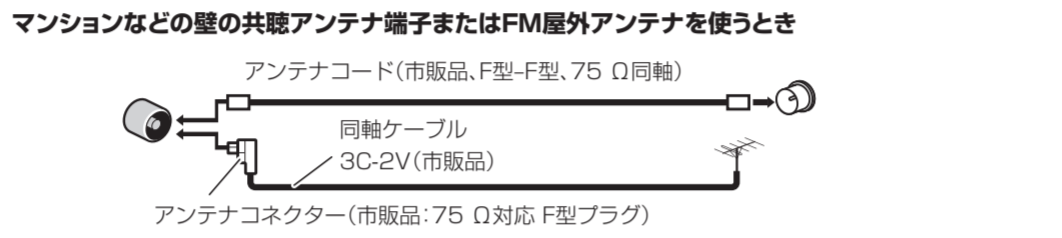
ご注意

巻き付けるときに無理な力を加えてコードを引っ張ったりすると、コードを損傷させる恐れがあります。

FMアンテナの接続

最も受信状態の良い位置と方向にアンテナをまっすぐのばしてください。

ご注意

アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。

マンションなどの壁の共聴アンテナ端子またはFM屋外アンテナを使うとき

- 付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクターの取扱説明書を参照してください。
- アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください。

ご注意

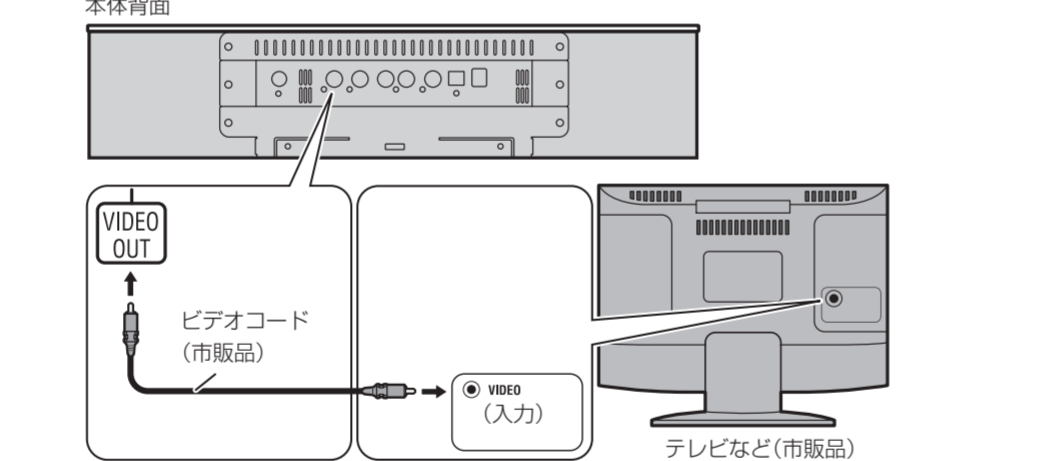
ケーブルテレビ会社と契約しているマンションの共聴アンテナ端子に本機のFM端子を接続している場合は、FM放送局の周波数が通常と異なることがあります。詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

外部機器の接続

ANALOG IN端子にはアナログ音声機器を、DIGITAL IN 1端子とDIGITAL IN 2端子にはデジタル音声機器を接続できます。
また、SUBWOOFER PRE-OUT端子にはサブウーハーを接続できます。

*1 リニアPCM信号が出力されるよう、DVDプレーヤーやテレビなどを設定してください。

テレビの接続ーiPodのビデオや写真をテレビで見る

本機に接続したiPodのビデオや写真をテレビで見ることができます。テレビのビデオ入力端子と本機のVIDEO OUT端子を市販のビデオコードで接続してください。

iPodの映像出力を設定する

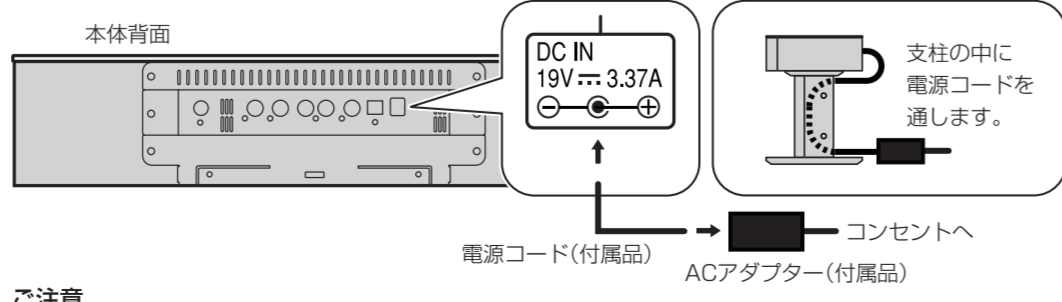
入力が「IPOD」で、iPodが本機に接続されていないときに…

iPod ▶/❚❚（本体のボタン）を押しつづける

VIDEO OFF（iPodの映像がiPod本体に表示されます）
⟺VIDEO ON（iPodの映像がテレビに表示されます）

電源コードの接続

電源コードは、すべての接続が終わってから接続してください。

- 付属のACアダプターを本機のDC IN端子に接続してください。付属の電源コードをACアダプターに接続してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 火災や感電を防ぐために
  - 付属のACアダプター以外は使用しないでください。
  - 付属のACアダプターを本機以外の製品には使用しないでください。

ご注意

- 本機の掃除や移動は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
- ACアダプターは支柱の外に出してください。

操作する

フロントパネルのボタンとランプ

1. ⏻/I ボタン
   電源をオン/オフします。
2. INPUTボタン
   くりかえし押すと、入力が「DIGITAL 1（DGTL 1）」➡「DIGITAL 2（DGTL 2）」➡「ANALOG」➡「FM」の順に切り換わります。
3. iPod ▶/❚❚ ボタン
   接続したiPodを再生します。
4. SSHDボタン
   StudioSound HDのオン/オフを切り換えます。
5. VOLUME＋/－ボタン
   音量を調節します。
6. リモコン受光部
   リモコン信号を受信します。
7. STANDBYランプ
   - 電源が切れているときに点灯します。

   SSHDランプ
   - StudioSound HDが有効のときに点灯します。

   TVOLランプ
   - TruVolumeが有効のときに点灯します。
8. iPod用ドックトレイ
   トレイを押すとiPod用ドックが開きます。
9. ディスプレイ
   音量や現在の入力、設定を表示します。

基本操作

電源を入れる/切る

[⏻/I]を押す

お知らせ

- 電源を切っている状態（待機状態）でもわずかに電力を消費します。待機中はフロントパネルのスタンバイランプが点灯します。完全に電源を切るには、電源プラグを抜いてください。
- [デジタル]、[アナログ]、[FM]または[iPod ▶/❚❚]のいずれかを押しても電源を入れることができます。

APS（オートパワーセーブ）を設定/解除する

本機を使用していないときに、自動的に電源を切ることができます。

[APS]を押しつづける

APS ON⟺APS OFF

- 何の操作もなく、次のいずれかの状態が29分間続いたとき、本機の電源が自動的に切れます。
  すべての入力：
  音量が0、または消音されている状態
  「DIGITAL 1」または「DIGITAL2」：
  光デジタル音声コードまたは同軸デジタル音声コードが接続されていない、または接続されているが信号の入力がない状態
  「IPOD」： iPodが接続されていない状態

無操作のまま、上記のいずれかの状態になると…「APS」表示が1分ごとに1秒間点灯し、最後に30秒間点滅して本機の電源が切れます。

入力を切り換える

次のいずれかのボタンを押す

それぞれのボタンを押すごとに、次のように入力が切り換わります。

[アナログ]：「ANALOG」（ANALOG IN端子接続）
[デジタル]：
「DIGITAL 1」（DIGITAL IN 1端子接続）
⟺「DIGITAL2」（DIGITAL IN 2端子接続）
[iPod ▶/❚❚]：「IPOD」

音量を調節する

[音量＋]または[音量－]を押す

- 0（MIN）から40（MAX）の範囲で調節できます。

ご注意

- 音を出す前には音量を小さくしてください。大音量に設定されていると、スピーカーが破損したり、聴覚障害の原因となることがあります。

一時的に消音する

[消音]を押す

- 音量を元にもどすには、もう一度[消音]を押すか、[音量＋]を押して音量を調節してください。

音量を平均化する

TruVolume（TVOL）により、音量の急激な変化を抑え、安定した自然な音声を楽しむことができます。

[TVOL]を押す

TVOL ON⟺TVOL OFF

ディスプレイの明るさを変える

フロントパネルのディスプレイの明るさを変えることができます。

[ディマー]を押す

ボタンを押すごとに、表示と明るさが次のように切り換わります。

DIMMER OFF（通常の明るさ）➡DIMMER 1（暗くなる）➡DIMMER 2（さらに暗くなる）

音質を調節する

低音と高音それぞれのレベルを－3から＋3の範囲で調節することができます。

1 [低音/高音]を押して設定したい項目を選ぶ

ボタンを押すごとに、BASSとTREBLEの表示が切り換わります。
- BASS:　低音の調節
- TREBLE: 高音の調節

2 [アップ]または[ダウン]を押して音質を調節する

お知らせ

- 音質の変化の大きさは、入力信号によって異なります。

サラウンドを使う

StudioSound HD（SSHD）により、臨場感あふれるサラウンド効果を得ることができます。

[SSHD]を押す

SSHD ON⟺SSHD OFF

FMラジオを聞く

放送局（周波数）を選ぶ

1 [FM]を押す

2 [▶▶❙]または[❙◀◀]を押して周波数を選ぶ

- [▶▶❙]または[❙◀◀]を2秒以上押しつづけると、本機が自動的に選局を始め、放送を受信すると止まります。

放送局を登録する（プリセット）

最大30局まで登録することができます。

自動で登録する（オートプリセット）

[オートプリセット]を2秒以上押しつづける

放送局が自動で登録されます。

手動で登録する（マニュアルプリセット）

登録したい放送局を受信中に…

1 [選択/メモリー]を押す

2 [アップ]または[ダウン]を押してプリセット番号を選ぶ

3 [選択/メモリー]を押して放送局を登録する

放送を聞きやすくする

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいときは、モノラル受信（MONO）に切り換えると聞きやすくなることがあります。

[FMモード]を押す

- ステレオ受信（AUTO）に戻すには、もう一度[FMモード]を押します。
  （十分な強さの電波を受信しているときのみステレオ受信が可能です。）

iPodを再生する

再生できるiPod

Made for（対応iPod）	音楽	ビデオ
iPod nano（第6世代）	○	○*2
iPod nano（第5世代）	○	○
iPod nano（第4世代）	○	○
iPod nano（第3世代）	○	○
iPod nano（第2世代）	○	—
iPod touch（第4世代）	○	○
iPod touch（第3世代）	○	○
iPod touch（第2世代）	○	○
iPod touch	○	○
iPod classic	○	○
iPhone 4S	○	○
iPhone 4	○	○
iPhone 3GS	○	○
iPhone 3G	○	○

*2 静止画のみ

- iPodの取扱説明書もご覧ください。
- 本機で対応していないiPodを接続した場合、「NOT SUPPORT」と表示されます。
- iPodが正しく再生されないときは、iPodの最新版ソフトウェアをダウンロードし、アップデートしてください。
  - iPodについて詳しくは、アップル社のウェブサイトをご覧ください。
    <http://www.apple.com/jp/>
- iPodの最新の対応状況については、当社ホームページをご覧ください。

iPodを接続する

本機の電源が切れているときに…

1 トレイ（8）を押してiPod用ドックを開く

2 iPodをコネクター部分に接続する

- iPod用カバーやアクセサリーを装着している場合は、はずしてから接続してください。
- iPodを抜き差しするときは、あらかじめ本機の電源を切ってください。
- iPodは、しっかり差し込んでください。
- iPodは、まっすぐ抜き差ししてください。
- iPodを接続したまま本機を移動させないでください。iPod用ドックが破損したり、iPodが落下して破損するおそれがあります。
- 本機のコネクターの端子部分に直接触ったり、物を当てたりしないでください。破損の原因となります。
- 本機の電源が入っているとき、接続しているiPodが充電されます。

再生する

[iPod ▶/❚❚]を押す

- 本機の電源が切れているときに[iPod ▶/❚❚]を押すと、電源が入りiPodが再生されます。

一時停止する/再開する

[iPod ▶/❚❚]を押す

早送りまたは早戻しする

[▶▶❙]または[❙◀◀]を押しつづける

次の曲にすすむ

[▶▶❙]を押す

前の曲にもどる

[❙◀◀]を2回以上くりかえして押す

曲の先頭にもどる

[❙◀◀]を1回押す

iPodをスリープさせる

[iPod ▶/❚❚]を押しつづける

メニューを表示する/前のメニューに戻る

[メニュー]を押す

メニュー上の項目を選ぶ

[アップ]または[ダウン]を押して[選択/メモリー]を押す

- iPodの種類により、動作が異なることがあります。
- 一部のiPodでは、メニュー画面の操作を行なうときは、iPodで操作してください。

ご注意：

- iPhoneまたはiPod touchの接続中に次の操作を行なうときは、iPhoneやiPod touchで操作します。
  - ホームボタンを押す
  - ホーム画面でアプリケーションアイコンを選ぶ
  - スライダーをドラッグする
- iPodのイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。